

情 報 局 編 輯

週 報

四 月 十 三 日 號

第 三 八 號

昭和十二年四月三十日

（每週一、四、六、日發行）



太 平 洋 問 題 特 輯

世 界 情 勢 と 太 平 洋
太 平 洋 に お け る 英 米 の 權 益
通 商 破 壞 戰 と 船 舶 保 護

附 大 東 亞 共 榮 圈 反 錄
太 平 洋 要 圖

本 號 限 十 錢

露光量違いにより重複撮影

四月廿八日 五月初七日

健康増進運動

撲滅せよ結核
 増強せよ乳幼児の體力
 栄養化せよ食内容

週報

第四二八號 四月二十日

太平洋問題特輯

世界情勢と太平洋

太平洋における英米の権益………二
 太平洋めぐり………二五
 通商破壊戦と船舶保護海軍省………二五
 浙江沿海自衛の概況………大本陸軍部………四

大東亞共榮圈及び
 太平洋要圖

四月十九日主

支那事變第二十四回(海軍部) 八回 論功行賞發表表二百三十三名 榮譽の恩賞にあつかる。 〇皇軍、浙江省岸に奇襲上陸、鎮海城を攻略。 〇訪日獨逸經濟使節團、新京で滿獨經濟懇談會を開催。 〇獨逸、オリンボス山を占領。 〇皇軍、寧波、温州を占領。 〇松岡外相、滿洲甲寅、聲明書を發表。 〇米、加南國軍品生産に關し協力する旨の協定成立。 四月二十日主

〇皇軍、福州を完全占領。 〇陸軍航空隊、ビルマ・ルート効果的、高首を低機。 〇羅絲蒙統制

法施行令公布 〇歸國中のオット獨大使歸任 〇法幣安定資金に五千萬弗供與の旨、モーゲンソー米國財務長官聲明。 〇ソビエト首相の下にギリシア改造内閣成立。 〇獨軍ラミア、ゾロスを占領。 四月二十日主

〇松岡外相歸京、參内して委曲を奏上。 〇前南支方面艦隊最高指揮官澤本賴雄中將歸京。 〇滿、鮮一如強化に關する共同聲明を滿洲國と朝鮮總督府發表。 四月二十日主

〇ギリシア軍の一部降服を伊軍發表

四月廿八日 五七七日

健康増進運動

撲滅せよ結核

増強せよ乳幼児の體力

栄養化せよ食内容

露光量違いにより重複撮影

週報

第三八號
四月三十日

歐洲より歸りて、外務大臣 松岡洋右、二

太平洋問題特輯

世界情勢と太平洋

大木登陸軍部 海軍部 平出英夫、四

太平洋における英米の權益……………二

◆太平洋めぐり……………二

通商破壊戦と船舶保護海軍省……………二

浙江福州作戦の概況……………大木登陸軍部……………二

(附) (録)

大東亞共榮圈及び

太平洋要圖

四月十九日(土)

▽支那事變第三十四回(海軍部第八回) 論功行賞發表、二百三十三名榮譽の恩賞にあつかる。▽皇軍、浙江省岸に奇襲上陸、鎮海城を攻略。▽訪日獨逸經濟使節團、新京で滿獨經濟懇談會を開催。▽獨逸、オリソボス山を占領。

四月二十日(日)

▽皇軍、寧波、温州を占領。▽松岡外相、滿洲里演、聲明書を發表。▽米、加兩國軍需品生産に關し協力する旨の協定成立。四月二十一日(月)

▽皇軍、福州を完全占領。▽陸軍航空隊、ビルマ・ルート効果的、価値を發揮。▽蠶絲業統制

法施行令公布。▽歸國中のオット獨大使歸任。▽法幣安定資金に五千萬弗供與の旨、モーゲンソー米國財務長官言明。▽ツィデロス首相の下にギリシヤ改造内閣成立。▽獨逸ラミア、ゾロスを占領。

四月二十日(火)

▽松岡外相歸京、夢内して委曲を奏上。▽前南支方面艦隊最高指揮官澤本頼雄中将歸京。▽滿、鮮一如強化に關する共同聲明を滿洲國と朝鮮總督府發表。四月二十三日(水)

▽ギリシヤ軍の一部降服を伊軍發表

週間誌

歐洲より歸りて

外務大臣 松岡洋右

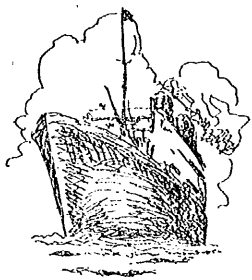
兎も角渡歐の使命を終へて豫定の通り六週間に於て無事東京に歸着した。百聞一見に如かず、東京に於て判つたやうで判らないやうな氣がしてゐた幾多のことが、ベルリンとローマに於て、僅かに數日づゝのことではあつたが、獨伊政府首腦者と交驩、會談の結果、ハッキリと判つた。この超非常時に當り、我が國の外交を運用する上に於て、得たところ蓋し少くないかと思ふ。

更にモスクワに於ても、ソ聯政府の主要人物と交驩、會談を遂げたが、特に二回に亙り、スターリン氏と、極めて眞摯明快なる意見の交換を行ふの機會を得たことは、私の最も欣快とするところであつて、日ソ中立條約は、その交渉の最後の段階に於て、スターリン氏自ら私と直談の上、即決したのである。

私が、今特にスターリン氏の一斷を指摘する所以のものは、徒らにその疾風迅雷にも似たる痛快を讀へんが爲めではない。世界空前の變局に臨み、如何に列強の巨頭等が自ら陣頭に立つて、大事を速に處斷しつゝあるかを紹介し、以て國民の決意を促さんが爲めである。吾々は、固より深慮遠謀を必要とするが、いはゆる慎重審議に名を藉りて、徒らに日を重ねて、容易に事を決せぬといふやうなことでは、ひとり進んで皇運を扶翼し積極的に國運を開拓することが出来ぬのみか、退いて自らを守ることすら覺束ないと考へる。

次に一言したいことは、恰も日獨伊三國條約が、日獨伊各國とソ聯との關係に何等影響するところなきが如く、今回の日ソ中立條約及び聲明書も、我が外交の樞軸たる日獨伊三國同盟條約に毫末も影響するところなき一事である。實は三國同盟締結の重大目的の一つを、やゝ確實に達成の道程に上せたもので、三國同盟條約の補強と云ひ得るのである。今次中立條約締結について、日獨伊三國政府間に、毫末の誤解なきのみか、現に獨伊もその成立を歓迎してゐる。また本條約は、日ソ國交の好轉を表徴しつゝ、三國同盟條約、日支基本條約及び過般の泰佛印紛争の調停等と共に、皇國の傳統たる八紘一宇の片鱗を示せる合理的表現であつて、また善隣友好を旨とする我が平和政策を、世界に明らかにしたものである。

終りに、私が若し少しでも、今回渡歐の使命に副ひ得たとすれば、それは時の力であり、また我が運が然らしめたものである。否、實に御稜威に是由るものである。須らく御互に敬虔の念を以て、よく自らの足らざるを思ひ、一層 天皇政治の何ものたるかに徹底しなければならぬ。この事なくしては、皇國の傳統たる八紘一宇の大理念を貫くことは所詮出来ないと、私は固く信ずる。



世界情勢と太平洋

大本營海軍報道部

海軍大佐 平出英夫

現下の時局と太平洋

世界のどの一角に起つた出来事でも、直ちに、全世界に影響を及ぼすのが現在の世界情勢の特長である。歐洲の戦争がどう動くかといふことが、痛烈に太平洋にも響くのである。たとへば、ドイツがイギリスを逆封鎖すると、イギリスが非常に困難を感じることは當然だが、これに對してアメリカが英國を援助する。そのアメリカの援助が太平洋に響いて來るのである。なぜかといふと、アメリカは太平洋にも大西洋にも面してゐる國であつて、

一つの方面に勢力が殺がれば、他の方面に勢力が増すのは當然のことである。そこに大西洋作戦が太平洋作戦に直ぐに響いてくる所以があるのである。

日ソ中立條約の成立も直ちに太平洋に響いてくる。今まで有事の際に英米側につくものと豫想してをつた英米側の期待を裏切つて、ソ聯が樞軸側に接近したといふ點において英米側に與へた影響は重大である。それだけに太平洋の情勢にも直接、間接の影響を與へるのである。殊に米國の武器貸與法案が通過して、米國が積極的に大西洋においてイギリスを援助するといふことになる

と、その國力の相當な部分がこれに割られることになるので、東洋に向け得る力が少なくなつてくる。しかし、こゝに特に考へねばならないことは、武器貸與法案は決して米國の慈善事業ではないのであつて、アメリカ自身の國防のためにイギリスを援け、また支那も援けてゐるといふことである。

フックス米海軍長官が、「日獨伊三國の海軍力を合計すると、一八五萬トンであるが、アメリカ一國では一三〇萬トンしかない。そこに國防上非常な缺陷がある」と言つてゐるが、當然加算されなければならない筈のイギリスの海軍力を一トンも加算してゐない點に、非常な意味があるのである。それは暗に、今の情勢のまゝでイギリスが破綻したのでは、アメリカとしては非常な苦しい立場に立つといふことを言ひてゐるのであつて、従つて自國の海軍力が日獨伊の海軍力を超過するまで、或はスターク案の三〇五萬トンの大海軍力が出來上るまで、イギリスを滅亡させてはならないといふことが、はつきりと讀み取れるのである。イギリスを援けるといふことは

取りも直さず、自國の國防を安固ならしめるために、その外部にある勢を或る時期まで保つて行く、といふ結論になる。

この武器貸與法案は既に發動されてゐるわけであるが、援英武器をアメリカ海軍が護送するかしないかといふことが、いまアメリカでも非常に大きな問題になつてゐる。一旦護送といふことになる、護送してゐるアメリカの軍艦がドイツの潜水艦にやられるといふことが起り得る。従つて護送といふことは當然戦闘を交へる、即ちアメリカの好むと好まざるとにかゝらず、参戦といふところまでつき進む可能性が非常に多いのである。

そしてそれは又、日獨伊同盟條約の第三條によつて日本が三國同盟を結ぶ時に所期してゐた、歐洲の戰禍をなすべく他に波及させまいといふ努力も水泡に歸して、アメリカの参戦によつて、東洋にまでその戰禍が波及して來る可能性が出て來るわけである。

かういふ意味において、現在の時局は、いつ日本が戦

争に捲き込まれるかも知れない危険性を多分に有つてゐるわけであり、超非常時になつてゐると言はざるを得ない。いよ／＼日本が戦争に巻き込まれた場合には、太平洋ではどんな戦争が起るか、といふことは大問題であるが、これに關してはどんな兵備が太平洋に行はれてゐるかといふことを知ることが當然必要となつてくる。

太平洋の列國軍備

英 國

英國が、英領マレー方面を中心に永年軍備の充實に躍起となつてゐることは周知の通りであるが、特にシンガポールは巡洋艦一隻、驅逐艦三隻、河川砲艦二隻その他十隻を擁し、極東の最重要據點として要塞その他一切の防備を完備してをり、最近では極東軍總司令部をも新設して攻防陣の完壁を誇つてゐる。陸軍兵力などもシンガポール附近に約二萬、北方國境方面その他に二萬計約四萬を備へ、さらに空軍は約三五〇機くらゐを有してゐるものと見られ、飛行機は最近米國から直接に空輸されるものもあるやうである。

香港はどうかといふと、事變以來一層嚴重な防備を施してをり、海軍兵力としては巡洋艦二隻、驅逐艦三隻、河川砲艦七隻、油槽艦三隻、その他一五隻を配備し、さらに機雷監視及び哨戒用小艦艇約三〇隻を備へ、要塞は勿論、有力な前進根據地施設も持つてゐる。一方陸軍は正規軍約一萬二千、豫備軍約六千計約一萬八千を有するほか、水上偵察機若干を配して防禦の完全を期してゐる。

次はオーストラリア方面であるが、海軍としては、現在巡洋艦三隻を基幹とする部隊で輸送船團の護衛や通商破壊戦等に活躍してゐる。

北方の根據地にはグーウィンとポートモレスビー（ニューギニア）があるが、いづれも海軍や空軍根據地としての防禦港であつて、特にグーウィンでは、本年初めから多くの労働者が工事中である。陸軍は正規軍約三千、市民軍約三萬八千、計四萬一千、ほかに目下近東、マレー、英本國とインド方面に約十萬の兵力を派遣中で、しかも

その兵力は續々充實中である。空軍の方は合計約二五〇機を備へ、このうち多少シンガポールに派遣中であり、最近シンガポール、ニュージランドと共に米國から優秀機が直接空輸されてゐるとの情報があつた。またフィジー群島とニューブリテン方面にも兵力を派遣強化してゐる模様である。

さき頃、米露とニュージランドの間に共同防衛の交渉が進み、また最近では英米露蘭のマニラ會談についても頻々たる情報があり、その他オーストラリアとシンガポールに米國士官を派遣することを決定した模様である。

以上を綜合すると、英國は大體ラポール、ポートモレスビー、グーウィン、蘭印、シンガポールと香港を連ねる線を對日國防第一線とし、米國とオランダに呼びかけて共同戦線を張らうとねらつてゐる。

米 國

米國は有力なアジア艦隊（巡二、驅二、潜二〇隻以上、

飛行機三〇、その他飛行機三三〇）を東亞に常駐するほか、ハワイ、フィリピンとグアム等の防備強化を圖り、アラスカ、アリューシャン群島方面に對する施設の充實と併せて、極東方面に對する威力の増強に努めてゐることは明らかである。

フィリピンには有力な根據地として要塞と所要の防備施設を行ひ、前進根據地としての十分な機能を備へてゐる。陸軍は常備軍として米國兵、土民軍合して二ヶ師團（約一萬、豫備軍約十萬九千を持つてゐる。グアム島の防備問題については、一昨年と昨年の米國議會で重大論議を捲き起し、遂に豫算が成立しなかつた。ところが、本年は殆んど論議もなく五〇〇萬ドルの防備強化豫算をつたのである。小さな一島嶼ではあるが、米國にとつては渡洋作戦その他戰略上の基地として重要なもので、着々その整備を急いでゐる。ハワイは渡洋作戦の據點ともいふべきで、現に太平洋艦隊の有力な大部を常駐し、飛行機だけでも一〇〇機以上で攻防いづれにも備へてをり、この勢力は實に全米海軍力の八割にも相當し

てゐる。その他ミッドウェー、ジョンストン、バルミラ、ウェーク、カントン等の南太平洋の廣大な區域に散在する諸島嶼を航空基地とすべく準備おさ／＼怠りない有様である。

蘭印

蘭印の防備については、蘭印當局は以前から焦慮してをり、英國に依存する傾向が極めて強く、兩者の關係が相當密接に保たれてゐることは、オーストラリアとの共同防衛の情報からも察しがつく。蘭印海軍の兵力は輕巡洋艦四、驅逐艦七、潜水艦一六、飛行艇四〇その他で、陸軍はジャヴァに二ヶ師團その他に千四ヶ大隊を有し、空軍として約七萬の動員兵力を保有してゐる。さらに空軍は飛行機二五〇機で、軍用に充てられる多數の飛行場を有する反面、近頃ではジャヴァなどでは不時着陸場となる飛行場は自ら破壊し、油田には破壊装置を施し、上陸豫想地點には嚴重な防備を施してゐる。

以上はごく大體であるが、錯雜した地形と、各國領土

の交錯散在してゐる情況では、西南太平洋の防備は帝國海軍としては重大關心を持つてをり、特に帝國の通商に對する關係は最も警戒を要する。

米國の建艦狀況

米國は、昨年のスターク案によつて、一九四七年頃までに潜水艦以上の艦船三〇五萬トンを整備する計畫を立ててゐるが、元來軍縮條約による米國の艦艇保有量は一二六萬トンであつたが、保有量は條約量に達してゐなかつたので、昭和九年（一九三四年）第一次ウィンソン案によつて條約量まで、昭和十三年（一九三八）第二次ウィンソン案により二割（條約量の）増強、昨年（一九四〇）第三次ウィンソン案によつて更に一割一分（條約量十二割）に對し増強、同じくスターク案によつて七割増強して合計三〇五萬トンに擴張することになつた。

しかし實際はなか／＼計畫通り進まず、現に昨年末の保有量艦齡内一〇三萬トン、艦齡外二七萬トン合計一三〇萬トン、外に三九萬トンを建造中である。換言すれ

ば、昨年末において第二次ウィンソン案の目標とする艦齡内一五一萬トンに對し、四八萬トンの不足である。従つて、これを一九四七年までに三〇五萬トンに擴張する苦心は並々ならぬものがあらうが、今年更に豫算を計上して、その完成を一年繰上げ、一九四六年中に完成するやうに變更したほどの熱意である。

いま一例を主力艦にとれば、現在既成艦はウィンソン條約當時に出來た十五隻である。その後第一次ウィンソン案以來建艦に着手し、目下十隻を建造してをり、今年中にさらに二隻、その後續々完成する豫定である。

巡洋艦は、從來軍縮條約によつて一萬トン以下で八吋砲のものと、六吋砲のものに區別され、米國は従前から甲級巡洋艦の方を重視してゐたが、最近は十四吋砲を有する二萬五千トン若くはそれ以上のものも計畫してゐるらしく、昨年中に建造契約が成立した巡洋艦は合計五〇隻に上つてゐる。また主力艦の艦型が大きくなれば、パナマ運河の通過は困難になるので、本年からその改修を始め一九四七年までに完成の豫定である。

以上のやうに大艦建造の外、驅逐艦、潜水艦等多數の補助艦艇を建造する必要があり、驅逐艦なども昨年中には一九三隻の建造契約を行つてゐる。その他多數の商船の建造も必要なので、造船界は繁忙を極めてゐる。

このやうな艦船建造とともに目下異常の努力を拂つてゐるのは航空兵力の増強であつて、現在米國海軍は約二千六百機を有してゐるが、スターク案は一萬五千機の完成を目標として、さし當り一九四四年六月までに飛行機一萬機と操縦者一萬八千五百名の整備を期してをり、對英援助と併せて目下大規模な増産を圖つてゐる。

このやうな大建艦及び航空兵力増強に對する豫算は、昨年合計四十八億ドル餘が成立したが、本年は實に六十一億ドルの多額を上程してをり、今後も例によつて追加豫算が出るであらう。

このほかに當面の急に應ずる戦備の促進として、艦艇の入渠修理、高角砲の裝備増加、彈藥の戦時定數搭載、人員補充、或ひは多年繫留してゐた驅逐艦、潜水艦の修理就役、多數の商船の購入、急造等を行つてゐる。

國民の覺悟

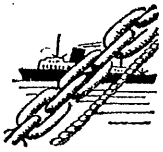
かういふ情勢の下にあるのであるから、日本の將來直面するであらう時局は、決して油断のならない、また正しい加減の心構へでは間に合はない重大なものであることは、自ら理解されると思ふ。

今まで支那事變を四年近くもやつてゐるわけだが、戦争といふものは、こんなものだといふ氣持を持つてをつたとすれば大變な誤りである。

支那事變は、その名の示す通り戦争ではなくて、事變であつて、しかも相手國たる支那の海軍と空軍は開戦當初において覆滅された。そのために、日本は、通商關係は何等妨害されず、また空襲や支那軍上陸の危険もなく、國民は非常に安穩な全く平和に近い生活を送ることができた。最近の生活の逼迫、物資供給の不圓滑は支那事變に物資が澤山に消耗された結果といふのではなくて、むしろ日本の國力を膨脹せしむるために、民間における物資が少くなつてきたのである。もう少し分り易くいへ

ば、陸海軍を合せて百億に近い大豫算を費つてゐるが、その大部分はいづれも、將來に對する國防力の増強に使はれてゐるのである。支那事變によつては海軍の根幹をなす艦隊の如きは、一隻も傷を受けてゐない。老なる豫算が支那事變に消耗されてゐると思つたならば、非常な誤解である。

日本の國力はたゞ上昇の一步を邁つてゐるのであつて、支那事變によつて日本は非常に強大な國となつてきたといつて差支へないのである。しかしこれからの國家總力戦は軍備だけでは戦ひ得ない。軍のやるのは戰闘であるが、總力戦は國民が行ふのである。銃後國民の一人一人が、すでにその意味で戦争の第一線部隊であるといへるのである。この國民に確乎たる信念と準備があるかないかといふことが、國家總力戦の勝敗を決する非常に大きな要素になると考へられる。如何なる悲惨な狀況に物資の缺乏した狀況においても動じないだけの確乎たる心構へを持つて、總力戦の第一線部隊として戦ふ氣持を準備されることが、何よりも重大な事柄と考へるのである。



太平洋における 英米の權益

地圖をひらいて太平洋の相貌を眺める時、太平洋がいかに廣大な大洋であるか分るが、宜なるかなその廣袤實に一億七千方料、全世界海面の半分に近い世界最大の大洋である。二十世紀は太平洋時代であるとは、既に久しい以前から歐米の先覺者によつて唱へられて來たところだが、まさにその言の通り、今や太平洋、殊に南太平洋は全世界の注視の的となつてゐる。蓋しこの地域は政治、經濟、外交に、將また軍事に、

頗る複雑且つ重大な問題を含んでゐるからである。而してその複雑な問題を含む理由は、南太平洋に關係をもつ列國のうち獨立國は僅かにタイ一國だけで、他は悉く日・英・米・佛・蘭・葡等諸國の植民地若くは屬領であり、しかも無數の散在島嶼がありその間列國の利害が複雑纏綿を極めるからである。

またその重大な問題を含む理由は、アフリカが純然たる歐洲の植民地であるに反し、南太平洋は日米の關係をも含んでゐるから、一朝とある場合には直ちにそれが全世界に大波紋を描くからである。

政治的勢力と經濟開發

しかし同じ白人の植民地といつても、その植民地の開發状態はまちまちであつて、必ずしも一樣に論ずることは出来ない。例へば濠洲などでも開發されてゐるのはシドニー、メルボルン、ブリスベン等の諸都市のある東南部沿岸地方であり、蘭印などもジャヴァ島とスマトラの西北部を除いては殆んど未開發のままに放置されてゐる。また葡領ティモールや英領ボルネオなども全く未開發のままといつても過言ではない。

れその開發程度に差等があり、經濟力や政治的勢力の強大な國は、他の力の弱い國の植民地にその羽翼を伸ばし得る餘地がある。だから、例へば東印度はオランダの植民地だからといって、その開發は獨りオランダの力のみによつて行はれるものではない。そこには日・英・米・佛・就中英米の力が多分に加はつてゐる。そしてそれが直接に又間接に、蘭印の政治的動向を決する上の大きな要因ともなつてゐるのである。

太平洋問題の噴しいこの際、英米が南太平洋にどんな權益を有するかを一顧することもあながち無駄ではあるまい。

廣大な英米領

まづ領土の面積についてみると、いはゆる南太平洋といはれる地域（日本領土たる内南洋を除いた濠洲、ニューギニア、大洋洲諸島、蘭印、葡領ティモール、フィリピン、英領ボルネオ、マレー、佛印、タイ、ピルマ）の總面積約五百萬方哩の内、英國は實に約三百六十一萬八千方哩、即ち全體の七二%を占め、又米國は（比島、グアム、ヴァージン・アイランドのほか英米共管のサモアをも含む）二十九萬六千七百餘方哩、即ち全體の約六%を占めてゐる。

またこれを人口についてみると、右にいふ南太平洋地域全體の總人口約一億五千萬のうち、英領は二千八百七十九萬一千即ち全體の約一九%を占め、米領は千三百三十一萬七千

豊富な資源

次に資源的に眺めると、濠洲は金、銀、銅、鐵、鉛、錫、石炭など頗る豊富な礦物資源を埋藏してゐるほかに、小麦、牛肉、皮革、酪農品等があり、羊毛の産額に至つては世界總産額の四分の一を占めるといはれてゐる。またニューギニアの鐵物、農産資源もほと濠洲のそれに似たものを豊富に藏してゐる。英領ニューギニアに至つては未だ探險も行きとどかず、資源の状態も不明であるが、マレーには世界生産の首座を占めるゴムと錫があり、また鐵、石炭にも恵まれてゐるほかに、農産資源としてコブラ、バナナップル、檳榔樹、

タバコカ、藤等がある。また英領ボルネオも未だ開發の程度が低く、資源の状態も明らかでないが、地味肥沃で農業に適し、石油、石炭などの礦物の産出も有望視されてゐるのみならず、林産にも頗る恵まれてゐる。またフィリピンは、砂糖、ココナツト、麻、煙草等の農産物に富むばかりでなく、林産物にも恵まれてゐる。礦物資源として今まで知られてゐるものは金、クローム、マンガシ、銀、銅等があるが、そのうち最も開發されてゐるのは金坑である。

英米の太平洋貿易

英米は南太平洋において直接これらの土地、人口、資源を有するばかりでなく、この地域との間に年々多額の貿易を行つてゐるのである。まづ英國は一九三八年において英領各植民地及び屬領に對し、合計七千七百五十三萬三千磅を輸出し、また八千二百八十六萬磅を輸入してゐるほかに、蘭印、佛印、タイ、フィリピン、大洋洲等に六百八十四萬八千磅を輸出し、また六百二十九萬七千磅を輸入してゐるから、英國の南太平洋地域に對する貿易は結局輸出において八千三百九十萬千磅、輸入は八千九百十三萬九千磅に上つてゐる。

米國の屬領及び南太平洋地域における貿易状態は、統計の發表されなものが多少あるので、正確なことは分らないが、一九三八年の統計によれば、フィリピンに對しては八千六百四十六萬四千米弗を輸出し、九千四百十六萬四千米弗を輸入してゐるほか、左表のやうな貿易を行つてゐる。

洲	輸出	輸入
濠洲	六、九二〇、〇〇〇	八、七六六、〇〇〇
ニューギニア	三、四八一	七、六八
マレー	八、八四四	一、三二五
佛印	三、二六	七、二五
タイ	三、三六	四、三
ビルマ	四、九	五、五
シンガポール	六、〇三	六、九〇
蘭印	六、二九	六、六五

九三九年はその第一位を占め、前年より約五〇%増の一億四千六百八十二萬七千盾の買付を行つてゐる。

英米の投資額

これにも増して注目すべきは英米が南太平洋地域の諸國に有する諸種の權益であらう。即ち農、礦、商、金融、交通その他各種事業に對する投資、學校、教化團體、病院等の經營、公社債への投資その他條約協定に基づく有形無形の權益等である。しかしこれられの權益が果して幾ばくの額に上るかその精確なことは到底究め難いが、その一端を擧げてみると、英國は蘭印に對し農礦商の各事業に約四億盾、また學校教化團體の經營並びに公社債に對し約一億盾を投

資してゐると察せられる。またタイに對しては外國投資國中の首座を占め、同國經濟の各部門に深く喰入つて牢固たる地盤を有してゐる。

米國が投資してゐる南太平洋各地中、自領のフィリピンに對する約一億五千萬弗は別として、一等多額を投資してゐるのはやはり蘭印であつて、その額は約二億七千萬盾に達し、オランダ、英國の次に位してゐる。また英領植民地と蘭領等に對しては約二千萬米弗程度の投資を行ひ、タイに對しても行政顧問を送りこみ、自國投資團の權益擁護と諒察を圖らしめてゐるから、相當の權益を有することは想像に難くない。

注目すべき航空路

航空事業は單に經濟的見地からばかりでなく、政治、軍事にも非常に大きな關係をもつてゐる。英國はインペリアル、エアウェイズ社のロンドン・カラチ間（現在はアレキサンダリアで中斷）印度橫斷航空會社のカラチ・シンガポール間、クワンタス・エンパイア社のシンガポール・ブリスベン間など、二〇、四九二軒に及ぶ大歐亞連絡航空權を掌握してゐる。また米國は、汎米航空會社がハワイ、ミッドウェー、ウエーク、グアム、マニラを経て香港に至る飛行距離二、三、二二〇軒の南太平洋橫斷線を有してゐるほかに、昨年七月ホノルル、カントン島、佛領ヌメアを経てニュージーランドに達する航空路を開拓した。



誌上

太平洋めぐり

太平洋問題の喧しい折柄、地圖をひらいて太平洋一めぐりをやつてみよう……

植田の印券は廣富トッパ

南洋群島

朝の六時に横濱を發つて、南へ南へと飛ぶと夕刻の午後四時にはサイパン島に着く。翔程二千六百十軒、僅か十時間で我が南の生命線、椰子の葉茂る南洋に着く。汽船で十日近

くもかゝつたのは、遠い昔のことがやうにさへ思はれる。それほど世界は狭くなつたのだ、といふより躍進日本の國力がそれだけ伸びたのだ。空路は更に、パラオ、トラック、ボナペ、ヤルトと伸びてゐる。我が委任統治區域の海面は東西二千七百哩、東北一千三百哩に互る廣大なものである。その中に點在する島嶼の数は實に一千四百餘島、しかしその總面積は僅かに二千四百四十九方軒に過ぎない。ちやうど東京府、

または沖繩縣ぐらゐの廣さである。
だがこの南洋群島が、大東亞共榮
圏の確立にいかん重大な意義をもつ
てゐるかは、こゝにこと改めて述べ
るまでもないだらう。

大正三年十月、我が海軍が軍政を
布いて以來二十七年、大正十年四月正
式に我が委任統治領となつて以來ち
やうど二十年、皇恩はあまなく南方
の島民にも及んでゐる。スペイン領
時代には叛亂に次ぐ叛亂を敢へてし
た島民が、今日では日本人と同様の
教育を受け、日本語を解し、立派な
皇化の民となつてゐる。

小さな島ばかりで一時は地味論さ
へも出た南洋であるが、サイパン、
テニアン、ロタ島の砂糖(年産二千萬
圓以上)アンガウル、サイパン、ロタ、

トコベ、グリメス、フェイス各島の磷
礦、國防上重要なボーキサイド、更
に製糖工業に附帯するアルコールの
製造等、南洋産業の戦時下日本に寄與
するところは大きい。殊に注目すべき
は最近急速な進展振りを見せてゐる
鱈漁業等の水産業である。太平洋の
大海原は無限の水産資源を藏してゐ
る。新興の南洋水産業が近い將來、
北洋漁業に匹敵する時代がくること
も想像に難くない。

蘭領東印度

わが南洋委任統治區域の西南に散
在する南洋多島海の島々が蘭領東印
度諸島である。島とはいふが蘭印は
世界最大の群島といはれる。ボルネ
オは世界第三位の大島である。従つ

て蘭印の各島嶼の總面積を合計する
と百九十九萬四千平方料となり、オラ
ンダ本國の實に五十八倍に達する。
蘭印は世界の寶庫といはれる。コ
ロンブスの西航も、マゼランの世界
一周も、香料島として知られた蘭印
のモルッカス群島に到達するのが目
的であつたといはれてゐる。今日で
は香料に代つて、錫、石油、ゴム、
砂糖、規那、煙草等々、蘭印の資源
は記すべく餘りにも有名である。三
百年のオランダの蘭印統治は、「オ
ランダ全國民が蘭印に寄食してゐ
る」とさへ評されるに至つた。
御朱印船、ジャガタラ文の昔から
我が國との關係は深いのであるが、
日本品の目ざましい進出に蘭印當局
は常に抑壓に抑壓を續けてきた。支

那事變勃發するや、理由なき恐怖に
襲はれて門戸を鎖し、英米を恃んで
我が國を牽制しようとしたので
ある。東亞共榮圏の眞意を知らしめ
てその一員たらしむべく、日蘭印會
談が續けられてゐることは周知の通
りである。

シンガポール

スマトラ島の東に、マレー半島が
狐の尾のやうに垂れ下つてきてゐ
る。その尖端にある二〇六方哩の小
さな島、それがシンガポールである。

シンガポールといへば、太平、イン
ド南洋の制海權を扼する軍事上、經
濟上の要點——シンガポール、スエ
ズ、ジブラルタルを結ぶ線こそはイ
ギリスの世界制衡の生命線である。

一八二四年にジョホール王から僅
か六萬ドルで買取つたこの島に、イ
ギリスは總工費二千二百萬鎊を投
じて、見るかげもない一漁港を一大
軍港と化したのである。

十九世紀前半にマレー半島の侵略
を完成したイギリスは、シンガポー
ルを根據地として極東への侵略を開
始した。即ち一八四二年阿片戦争の
結果香港を占領すると同時に、上
海、寧波、福州、厦門、廣東の五港
を開かせた。一八八五年には清國の
屬國であつたビルマを占領、一八八
八年にはオランダの抗議にもかかわらず
北ボルネオ一帯を英國の保護國
と化したのである。

タイ國

ビルマと佛印に挟まれ、四圍悉く
白人の植民地と化した南方にあつ
て、ひとり儼然と獨立を續けてゐる
のはタイ國である。
滿洲國問題の國際聯盟總會で反對
の意思を表明した唯一つの國シヤム
は、一昨年「從厚」も意味する「シヤム」
といふ國名を「自由」を意味する「タイ」
國と改め、今春三月には佛印との國
境紛争の調停を我が國に依頼し、三
十數年前にフランスに奪はれた失地
を回復した。タイ國はアジアの獨立
國なるの地位を自覺し、躍進日本の現
實を公正に認識して、大東亞共榮圏
の確立に來り投じてゐるのである。
タイは朝鮮を二倍して臺灣と九州
を加へた程の國である。タイといへ
ば直ぐに象と米を思ひ出すほどで、

米は總輸出の六割を占め戦時下日本の食糧にもお馴染みとなつてゐる。産物はチーク材、檳榔、胡椒、胡椒、新興のゴムもある。首都バンコクは極東における航空路の中心として、英、佛、蘭、獨の定期航空路が歐洲から伸びてゐるが、歐洲戦争の勃發によつて今では英國とオランダだけとなり、代つて昨夏が日タイ定期航空路が力強く伸び、現在週二回の運航である。

佛領インド支那

佛領インド支那は昔の安南國である。フランスの安南侵略は十八世紀の末葉から始まつてゐるが、一八五九年に至つてフランスは艦隊を送つてトゥラン港とサイゴンを占領し

た。一八六二年のサイゴン條約によつて交趾支那を安南王から割譲させ、翌年にはカンボジャを保護下に置いたため再び安南と戦端を開き、一八八四年これを降伏させてトンキン地方の保護権を認めさせると同時に安南國自體もその保護國とした。更に侵入の鉞を納めず、一八九三年にはラオス地方の保護をタイ國から、雲南鐵道の敷設権を支那から獲得し、日清戦争によつて支那が疲弊したのに乗じ、三國干渉によつて我が國に遼東半島を還付させた報酬として、一八九八年から九十九年間に亘る廣州灣一帯の租借権を獲得した。フランスは外観的な文化修飾には非常に意を用ひ、サイゴンは小バリーといはれるほどの美しい市街である。

河内は名の示す通り紅河の沼澤の中に築き上げた植民都市である。しかし開發に當つて最小の努力を以て最大の効果を求める餘り、土民を酷使したため、安南人の安南を目ざす民族運動もかなり根強いものがある。佛印は我が全土よりやゝ大きい面積で、總人口二千三百萬、うち安南人が七割二分、カンボジャ人が一割二分を占めてゐる。支那人は僅か一分四厘に過ぎないが、こゝでも通商金融の殆んど全部を左右してゐる。メコン河の流域は世界的な米産地で、東亞共榮圈における食糧資源の生産地としても重要な地位を占めてゐる。礦産物には石炭、亞鉛、鐵、石、鐵錫、タングステン等がある。歐洲大戦勃發前はエール・フラン

スの定期航空路が佛本國とサイゴンを結んでゐるが、今はハノイ、サイゴンを結ぶだけである。日タイ定期航空路の開設に當つて佛領通過を肯



安南の花賣娘

んぜず、やむなく沿岸二十哩の沖合の迂回コースをとつたのは昨夏のことだつたが、今ではわが空路がハ

ノイ、バンコク、サイゴン、トゥラン、ハノイと結んでゐる。

新南群島

こゝで佛印東南海上のわが新南群島へ一寸寄つてゆくことにしよう。新南群島は大正六年以來日本人が踏査してゐる島で、大正七年第一次ラサ工業の探險隊が上陸調査し、九年十二月には第二次探險が行はれ、十年六月から長島と南二子島でラサ工業が鑛産の採掘に着手したが、昭和四年世界不況のため一時内地に引揚げた。その後臺灣の開洋興業會社が再び長島で採掘を始めてをり、現在百數十人の邦人が居住してゐる。

昭和十四年三月三十日、新南群島を高雄市の管轄に編入した。帝國

政府が管轄を決定した區域は、北緯十二度東經百十七度の地點から、北緯九度三十分東經百十七度、北緯八度東經百十六度、北緯七度東經百十四度、北緯七度東經百一十一度三十分、北緯九度、東經百一十一度三十分、北緯十二度東經百十四度を結ぶ龜甲形の區域である。

蘭印から濠洲へ

今度は蘭印の東端へ逆戻りしてニューギニアへゆかう。ニューギニア(ハブア)島は世界第二の大島で、もとは全島オランダ領であつた。しかしニューギニアは、今日でも奥地は全く未踏査で、首狩や食人の風が残つてゐるからであるから、オランダ人の勢力は西部以外には及ばな



かつた。これに乗じてドイツは一八

八四年北部ニューギニアとニューア

イルランド島、ニューブリテン島を

占領したのである。あはてたイギリ

スはニューギニアの南部を占領し

た。こゝにニューギニアは英、獨、

蘭の三國に分割されたが、前歐洲大

戦の結果獨領の部分が濠洲の委任統

治區域となつたのである。

小スンダ列島の東端、濠洲に臨む

ところに、わが大日本航空が昨秋以

來試験飛行をやつてゐるティモール

島がある。この島は九州ぐらゐの大

きさで大體百二十五度線を境に西は

蘭領、東は葡領となつてゐる。

わが南洋興發が昭和十一年夏、同

島の代表的商社S.A.P.T.と提携し、

コーヒ、ゴム、カカオの農園と獨

占的な貿易業を經營してゐる。

濠洲

ティモール島から空路一飛びで濠洲のダーウィンに達する。

濠洲は赤道を隔ててわが日本列島の真南に當り、面積は日本内地の二十倍強であるが、人口はその十分の一以下である。英國がこゝを領有して以來原住民は絶滅に瀕し、人種的偏見から日本人等の有色人種の入國を峻拒してゐるので、廣大な天然資源を徒らに死蔵してゐる形である。

濠洲が西太平洋の對岸に位置する隣邦となつた以上、政治經濟の諸問題が我が國にとつて直接間接の關係を持つやうになつてくるのは當然である。殊に世界の情勢が數個の自給自

足圖に分れようとしてゐる今日、國防上の見地からいつても、濠洲の動きは日本にとつて重大な問題となつてくるのである。

濠洲からハワイへ

濠洲の東の南太平洋上を見ると、

ハワイから米國の航空路がカント

ン、ニューカレドニア、ニュージラ

ンドと伸びてきてゐる。

ニューカレドニアはわが南洋タカ

イ島の南方千五百哩の地點にあり、

昨年九月、クーデターによつてド

ゴール派の掌中に歸した島であ

る。同時にその地方にある英佛共同

管理のニューヘブリデス諸島を英國

の單獨管理に移すと聲明した。

ニューヘブリデス諸島の東にある

サモア諸島は、南太平洋の諸島の中

央に位し、軍事的の重要地點である

ため、十九世紀の末葉には英米獨の

三國がこの島を繞つて激烈な領有争

ひを演じた。結局一八九九年のサモ

ア分割協定でツツイラ以東は米國に

他はドイツの手に歸し、イギリスは

アフリカで代償を得て手を引いた

が、この獨領が前大戦後ニュージラ

ンドの委任統治區域となつてゐる。

當時米國はツツイラ島のバゴバゴ

を海軍基地としたが、今日ではロー

ズ島に航空基地を設けてゐる。

航空路を造つて東北へ向ふと、赤

道の近くでフェニクス諸島中の一島

カントン島に着水する。この島とエ

ンダペリー島とは、英領か米領か所

屬未定の島で、最近まで英米間に争

のあつた島であるが、米國は委細か

まはず着々施設を進め無電局を完成

し航空基地としてゐる。

カントン島の西北、我が委任統治

マーシャル群島の東南八百哩の地點

にハウランド、ペーカアの米領二島

がある。ハウランド島は四百エー

カーの小島で英領であつたが、放つ

てゐる間に一九三五年突然米國が領

有を宣言し、航空基地を設けたので

ある。一九三八年イヤハートが濠洲

訪問飛行の際、陸上飛行場を設けた。

ペーカー島は海拔二十五呎、長さ

一哩ばかりの珊瑚礁である。

カントン島からハワイへの空路の

東方海上にバルミラ島がある。面積

一方哩半の小島で、米國の航空基地

として利用されてゐる。

ハワイの西南方にはジョンストン

島がある。この島も一九三四年に米

國が占領して海軍省の直轄とし、飛

行艇の基地としてゐる。

× ×

こゝで一吋まで通つてきたコー

スを振り返つてみよう。米國の前進

基地であるハワイから南進してバル

ミラ、更に赤道を超えてカントン、

それから西に進んで、ニューカレド

ニア、濠洲北岸のダーウィンを經て

シンガポール、またはマニラに辿り

つく。これが米國のいはゆる南方迂

回航路である。

ハワイ

ハワイは米本土から二千百哩を隔

てた太平洋上の前進基地であり、オ

アフ島には七億ドルを費して構築し

た海のマジノ線と呼ばれる要害堅固な真珠湾軍港がある。この軍港には戦艦用の大ドックを始め、浮ドック、燃料、兵器、弾薬、糧食の貯蔵所もあり、アメリカの全艦隊を收容し得るといわれる。

ハワイは一七七八年にキャプテンクックによつて発見された島で独立の王国であつたが、一八九八年(明治三十一年)米國に併合された。この併合條約に對して、當時二萬五千の同胞を同島に送つてゐた日本は、強硬に抗議したが、ハワイ政府が誠意を示し賠償を約したので抗議を撤回した。米國はハワイ併合によつてはじめて大陸以外に領土を得、太平洋争覇戦に乗り出してきたのである。全島の面積は六千四百五十方哩、

人口三十九萬六千、うち日本人十五萬一千、歐米人五萬七千、フィリピン人五萬三千、混血兒三萬九千、ポルトガル人三萬、支那人二萬七千、ハワイ土人二萬一千(一九三七年現在)

ハワイから西へ

ハワイの西北千三百十五哩にミッドウェー島がある。この島は極めて小さな珊瑚礁だが、米國はさきに五百三十萬弗を投じて飛行艇及び潜水艦基地としての設備を強化した。ミッドウェー島からはゆる々アマリカ傳統の國防線である百八十度線を超へて西進すると、わが委任統治區域に接してウエーク島がある。この島にも二百萬弗を投じて潜水艦及び航空基地の設備を強化してゐる。

ウエーク島から更に西に進むとわが委任統治區域の中央部にグアム島がある。グアム島はハワイから約三千三百哩、マニラの東方千五百哩、横濱まで千三百五十哩のところにあつてわが南洋諸島にとりまかれ、サイパンからは僅か百哩である。グアムの防備強化は周知の通りだ。グアム島はもとくはスペイン領であつたが、一八九八年の米西戦争で米國が占領し、グアム以外のマリアナ群島はドイツが買受けたのである。

パンアメリカンの定期航空路はサンフランシスコから以上に述べたハワイ、ミッドウェー、ウエーク、グアムの諸島を経てフィリピンのマニラ、香港から重慶にまで伸びてゐる。こ

のコースが米國の中央航路で、わが南洋群島の中央を貫いてゐる。

フィリピン

フィリピンはもとスペイン領であつたが、米西戦争に際して一八九八年米國は艦隊を送つてマニラを占領した。當時フィリピンには獨立運動が起つてゐたが、米國はこれを援助すると見せて兵を送り、米西講和となるや一變して比島を領有するに至つたのである。ハワイ併合直後のことで、米國はこれによつて極東進出の確乎たる基礎を築き上げた。

フィリピンは一九三五年の人民投票によつて半獨立國となり、十年後の一九四五年には獨立することになつてはゐる。

フィリピンは七千餘の島から成り、面積は日本全土の半分より小さいが、マニラを中心に千七百哩を半徑とする圓を描けば、横濱、北京、漢口、バンコク、シンガポール、バタヴィアはその圓内に含まれ、東洋の中心ともいふべき位置にある。

米本土から北方へ

こゝで米本土へ引返して、太平洋岸の海軍基地をみると、南からサンディエゴ、サンフランシスコ、シアトル(ビューシェッドサウンド)等が挙げられる。アラスカへ行くとシトカが武装してゐる。アリューシャン群島のコチャック、ウナラスカも潜水艦及び航空基地として一九四二年までに完成の豫定で工事を急いでゐる。

コチャックはアラスカ海上防備の基地となるもので、將來は「北方の真珠灣」となるものとみられる。ウナラスカ島のダッチハーバーは要港で、太平洋とベーリング海を結ぶ戦略的要點である。

以上の各地を連ねる線がいよいよ北方航路で、シアトルからアリューシャン群島を経て横濱までの距離は約四千九百哩であるが、アリューシャンの最西端アッツ島から我が占守島までは僅か六百六十哩である。

寫眞週報

(定價十錢)

健康増進運動の特輯

四月三十日發行

浙江福州作戰の概況

大本營陸軍部

抵抗する敵を撃破して前進、二十日朝諸營を攻略した。

諸營は漢代からの古い城鎮で、浙贛鐵道開通以來活氣を呈し、事變以來わが陸海軍飛行隊の擡撃目標となつてゐた。

一方、別に水上機動により錢塘口の河口瀝海に上陸した古賀、明田、義盛、戸田、黒田の諸部隊は十七日朝紹興を占領した。

この戦鬪に協力した遠藤、森玉、小野、是松、渡邊の各飛行隊は、十六日の作戦開始以來義橋東方の堅固な敵陣地に對し、また退却する敵に對し爆撃を實施して多大の打撃を與へた。

二、浙江上陸作戦

この作戦に連繫してかねて某地に作戦準備中のわが陸海軍部隊は、十八日夜東支那海を航行し、十九日朝、浙江省東海岸の要衝鎮海、石浦、海門、温州方面に對し急襲上陸作戦を敢行した。上陸正面實に二百五十軒に互つた。當時風がやゝ強く波浪が高かつたが、周到なる準備によつて上陸行程は順調に進んだ。

重慶抗日政權の海外密輸入路封鎖のため、先に香韶路遮断作戦、雷州作戦、汕尾作戦等の封鎖作戦が行はれたが、今また残る浙江方面に對する作戦が行はれた。

一、杭州南方の状況

錢塘江南方には敵の第三戰區司令官顧祝同の指揮する第六十三師、第七十九師、そのほか抗敵自衛團等が、支那經濟の中心地浙江財閥の根據地によつて、わが軍に抵抗を續けてゐた。この敵を撃破する目的で、わが軍は四月十六日早朝から作戦を開始した。

即ち杭州南方に流れる富春江及び浦陽江に沿つて前進中のわが陸上、水上部隊は、險峻なる山地によつて抵抗する敵を撃破しながら、十七日には臨東の東方に進出した。この部隊の東方蕭山方面から行動を開始した羽島、伊藤、神宮、笠原等の部隊は、十七日の夜明には杭州の南方義橋を占領、さらに東北方の山地によつて頑強に

鎮海方面に上陸した楠木、大橋、大本、平山、市川、岡部、守田、友野、小林、關根、中平、田村の諸部隊は、敵の百九十四師の守備部隊を撃破して前進、翌二十日午後三時寧波を占領した。

寧波は人口四十萬内外、浙江財閥の中心根據地で、わが國とは早くから貿易してゐた。浙江省第一の海外輸送路である。寧波攻略部隊は二十一日午前九時、寧波南方七軒の石溪を攻略した。

鎮海の南方石浦には小林部隊が上陸した。石浦の南方海門に上陸した安藤、柴谷、花輪部隊は、水路に沿つて前進、十九日夕には海門の西方十六軒黄巖を占領した。さらに海門南方瑞安に上陸した松浦、原田、清水、宮本、佐々木、高橋の諸部隊は十九日夕温州を占領した。温州は浙江省南部の要港で、温州蜜柑の産地として知られる。浙江海岸上陸作戦と同時に、福建省福州に對して上陸作戦が敢行された。風速二十米の烈風を冒し、十九日の拂曉、閩江南北の沿岸の奇襲上陸に成功、福州周囲には簡單な海岸要塞があるが、わが陸海軍は飛行隊協力の下に之を制壓しながら前進、二十一日福州に突入した。

福州は福建省の都、人口約四十萬、華僑の根據地、事變前邦人が二千名近くも活躍してゐたが、恨みを吞んで引上げた。

三、封鎖作戦の効果

先般來數次に互つて行はれた海岸封鎖作戦が、敵側に如何に影響を及ぼしたかを知る一例として、援蔣物資の仲繼中心地たる香港の非相場について述べると、香港の非ドルに對する軍票相場は二月一日には二百六十九圓であつたものが、香韶路遮断作戦後には二百四十五圓に下がり、雷州作戦後には二百三十四圓、汕頭作戦後にはさらに百九十三圓に暴落してゐる。勿論この原因は、米國の全般的資金凍結令發動の懸念からもきてゐるが、數次に互る封鎖作戦によつて重慶への物資交流が遮断され、香港の經濟的地位が危険視されたためと判断される。

四、歐洲戦争との比較

浙江省の面積は約十萬平方料、人口二千萬、福建省は面積十五萬平方料、人口一千百萬である。ドイツの作戦中のギリシヤは面積約十三萬平方料で、浙江省よりは若干大きい人口は七百萬でこの點遙かに少ない。この一比較でも、支那事變が如何に大きいかが判らう。

通商破壊戦と船舶保護

—海軍省—

通商破壊戦とは

近代戦の特質は、武力を先鋒とする國家總力戦の完遂にある。もちろん戦争の最後は一大武力戦にかゝつてゐることは當然であるが、この決定的な武力決戦に達するまでは、長期に亘る政治戦、思想戦、經濟戦が展開され、戦争はどうしても長期戦にならざるを得ない。

特にこの長期持久戦を敢闘する基礎は、強大な戦時經濟力の確保に繫つてをり、従つて敵國の抗戦力に破綻を生じさせ、延いては敵國民の戦意を喪失させるために、敵國の經濟力破壊を企圖する作戦行動は開戦と同時に始められ、

激化されてゆく。すなはち、海上武力戦の華々しい場面に先立つて相當長期間に亘る通商破壊戦が展開されるのである。

この通商破壊戦も、第一次歐洲大戰當時ドイツが採用するまでは、單なる戰術行爲の便法として戦局には大した影響を與へなかつた。ところが、この戦法が一躍世界の一大脅威と化したのは、當時劣勢であつたドイツ海軍がイギリスの經濟封鎖に對抗して、苦しまぎれに演じた無差別撃沈の潜水艦戰術によつて、實に重大な結果を招來し、イギリスは一時完全に近い逆封鎖を受け、死生線上の苦惱に直面してからのことである。

今次の歐洲戦においても、ドイツはいち早く勇敢な戦法で徹底的な通商破壊戦を展開し、このまゝの状態を進めば、現在二千萬噸内外の總噸數を持つイギリス商船も一、二年を出でずして壊滅し去るであらうといはれてゐる。

このやうな通商破壊戦術の威力の前には、近代戦は全く戦争形態を一變するやうになり、我々は單に海上ゲリラ戦の一戦法として看過し去ることは出来ないのである。通商破壊戦は潜水艦、航空機その他の水上艦艇によつて行はれるが、最近の潜水艦や飛行機の著るしい進歩は、とりわけ通商破壊戦にすばらしい威力を示してゐる。すなはち、昭和十六年一月末調査による英側船舶被害状況によれば、潜水艦によるもの約四百五萬噸(約五三%)、飛行機によるもの約百六十三萬噸(約二二%)その他の水上艦艇によるもの約百九十九萬噸(約二六%)といふ記録を示してゐる。その後二月は二十四萬噸、三月五十二萬噸(獨側発表によれば七十二萬噸)と増加してゐる。

潜水艦は第一次世界大戰の頃から長足の進歩を遂げ、今日では速く大洋に行動して主作戦に参加活躍し、特に今次

歐洲戦ではドイツの潜水艦五百噸級のE二七號が、スカパフロー軍港の奥深く闖入して二萬九千噸級の英戰艦ロイヤル・オーク號を一瞬にして撃沈するなど、實に潜水艦の全面的な威力を發揮したものである。

潜水艦の通商破壊戦に對する脅威は、最近全く高度化され、排水量においても航續距離においても實に恐るべき性能をもつものが現はれ、アメリカのV型潜水艦などは十二節、一萬二千哩の航續距離を有してゐるといはれてゐる。特に潜水艦のもつ獨特性能として制空權や制海權に關係なく、敵の監視を潜つて自由に水中を横行潤歩することは敵商船にとつてこれほど恐ろしいものはない。飛行機による通商破壊戦の効果は、特に最近の獨空軍によつて遺憾なく發揮されてゐる。潜水艦及び飛行機のほか巡洋艦や驅逐艦なども、適宜通商破壊戦に従事してゐるが、ドイツは今次歐洲戦の開戦とともに袖珍艦を登場させ、ドイツチェランド、アドミラルシェアーの名は開戦當初、全世界驚異の的としてその耳目をおどろかしたものである。



敵の護衛船を望む孤獨艦

歐洲戦における通商破壊戦

イギリスは前大戦の経験に徴して、今度は開戦と同時に對獨海上封鎖の布陣を張るとともに、ドイツの通商破壊戦を豫想して自國商船の護送に完璧を期したのであつた。しかし、今回の歐洲戦の條件は、ドイツの歐洲全土の席巻によつて第一次大戦の状況とは大いに趣を異にしてゐるのであつて、ソ聯と結びバルカンを抑へた獨伊に對して、經濟封鎖を完全に行ふことがむづかしいことは明らかである。殊にフランスが降服した後、歐洲の經濟自給圏の確保に著々効果を擧げてゐるドイツにとつて、イギリスの封鎖作戦は何等の痛痒を與へ得ないのである。他方ドイツの通商破壊戦は、北フランス、ノールウェー、オランダ、ベルギー等を占領した結果、北海や英佛海峡方面の英艦襲撃は専ら空軍で行ひ、潜水艦はイギリスの西北、西南方面に主力を注ぎ、且つこの空軍と潜水艦との協同作戦によつて廣範圍に互つて戦果を収めてゐる。殊にドイツ潜水艦にとつて好都合なことは、フランスの大西洋岸基地を獲得した結果、こゝを小型潜水艦の給油その他の作戦基地として利用することが出

來、従つて常に多數の潜水艦を海上に放つておくことが出来るといふことである。

このやうな状況でドイツの通商破壊戦は頓に成果を擧げてゐるが、これに對し自國商船の護衛に任ずるイギリス海軍は、前大戦のやうに佛伊の海軍の援助はなく、さらに地中海に多大の勢力を割かねばならない状態となつてゐるので、商船護送に使用し得る艦船の数は相當の制限を受けてます。不利になり、イギリスは實に慘澹たる事態を呈してゐる。

戦局の進展とともにドイツは、この徹底的な潜水艦戦術を強化して最近北大西洋の潜水艦は續々増加されてをり、國內の潜水艦建造計畫も一段と飛躍し、後から／＼と補強される潜水艦によつて英本土兵站線は完全に遮断されようとし、イギリスはあたかも前大戦においてドイツの無制限潜水艦戦術が開始された一九一七年の當時にも比すべき一大危機に直面してゐる。去る一月三十日ヒトラー總統は、春期對英作戦の展開を示唆して、更に徹底的な潜水艦戦術に出る旨を宣言した。その結果、今後のドイツの作戦とし

ては多數の潜水艦によつて英本土を遠巻きにし、通商破壊を完全に行つて英本土の抗戦力を喪失させようとする長期海上ゲリラ戦の態勢を整へ、適宜上陸作戦を斷行する機会をうかゞつてゐる意圖が明らかにされたが、このドイツの通商破壊をめぐつてアメリカの對英武器貸與法の實施と睨み合せて、切迫せる危機をほらみつゝある。

通商路の擁護

長期持久戦を行ふには、多量の戦時物資を確保することが肝要であり、従つて物資獲得の手段として海上の危険をも顧みず多數の商船を頻繁に動かさねばならない。また交戦國としては敵國への物資流入は努めて妨害して、一日も早く國力の消耗喪失を圖らねばならないのであつて、この兩者の相關關係において通商破壊戦が戦争繼續中は何時までも持久的に行はれるのである。従つて戦時通商の安全確保の問題は極めて必要であるに對し、その擁護手段にはまた非常な困難が伴ふ。殊に通商護衛によつてそれだけ船舶の能率は減少され、いくら船舶があつても足りないやうになるので、

各國とも通商路擁護の問題には多大の苦心を拂つてゐる。イギリスなどは、今次の大戦に先立つて既に一九三七年末から集團護衛制に關する準備訓練を行つてゐた。それにもかゝらず、いよいよ戦争勃發に當面すれば忽ちドイツの破壊戦のために思ふ存分蹂躪されてゐる現状である。

通商保護の手段としてとられる方法は「集團護衛制度」である。この制度の歴史は前大戦に發してをり、ドイツの無差別潜水艦戦に苦悶したイギリスが、焦眉の一策として採用したのが初りである。當時イギリスは、これによつて著しい好成績を挙げ、既に英本土に残された食糧が、僅かに三週間分に過ぎないといふところまで追ひつめられてゐたのであつたが、この結果、漸くドイツの潜水艦戦術を抑へて起死回生の成果を得たものであつた。

今日の通商擁護の手段としても、この制度を採用するよりほかに方法はあるまいといはれてゐるが、この方法には、だいたい「直接護衛」と「間接護衛」の二つがある。前者は、速力のほど同じやうな商船を一纏めにして商船團を組織し、その周圍を驅逐艦或ひは飛行機等が護衛して海上を航

行するのであり、後者は、ある一定の水域を商船團が獨り歩きをしても安全な程度に、海上警備を施す場合をいふ。しかし、この集團護衛には相當技術上の面倒があり、殊に同一港の船舶集合や積荷に相當の時間を要し、その間に敵艦に探知襲撃される危険があり、また航海中隣船との連絡通信、さらに無燈航海、ジグザグ航行など、あらゆる訓練と準備を必要とするものである。

今度の歐洲戦では、ドイツの潜水艦がイギリス商船護衛團に對して、逆に潜水艦の集團攻撃といふ新戦術に出るとイギリスはその裏をかくて護送船隊を十五平方マイル程の範圍にばら撒き、これを小型快速艦で護衛する方法をとつたりしてゐる。

翻つて我が國の現状をみると、石油、鐵、米などの重要物資を多量に輸入する必要があるため、この通商路を敵の破壊戦から擁護することは、國防上、また戦時國民生活上極めて重大な問題なので、關係方面で慎重に研究した結果、遂に今議會で「船舶保護法」の成立をみるに至つたのである。この法律の骨子は、本誌二三三號にも解説したやうに、

戦時、商船保護の必要がある場合に、海軍官憲は船舶保護上緊要な指示をなし、敵の軍事的危害に對し海軍力を以て船舶保護に遺憾なきを期するといふ點にある。

右の提案理由に、「帝國は概ね制海權を掌握し終るまでは、第一線部隊の兵力はこれを十分保有する必要があるから、やむを得ず船舶の保護には最小の兵力で最高の成果を収めなければならない、そこで、この場合保護を受くべき船舶が、海軍の意圖に合致すべき状態を保ち且つ行動することが絕對的條件である」と説明してゐるが、誠に通商保護の緊要且つ困難な事實に鑑み、一朝有事に先立つて十分周到な準備を必要とするものであり、これがため官民の極めて緊密な協調と統制が要請されるのである。

通商破壊戦と國民の覺悟

來るべき太平洋戦が長期持久戦となり、その間に交戦國の生産力を減退させたり、國民の戦意を喪失せしめて總力の絶滅に導かうとする戦法がとられることは必定である、従つて太平洋における對日作戦は、西南太平洋にお

る英米勢力圏の下に制海權、制空權を確保して日本の南方生命線の制壓によつて完全なる對日經濟封鎖を斷行するとともに、日本本土の空襲、通商破壊戦等の、長期に亘るゲリラ戦法を繼續して、生産力の低下と物資の窮乏化を企て國內民心の動搖を圖らうとするものと見られる。

一旦緩急の場合、開戦當初から活潑なる通商破壊戦、本土空襲戦が展開され、太平洋上に日本商船の犠牲が續出し、帝都の上空からは爆彈の雨が降つてくる覺悟は持つてゐなければならない。わが海軍の統一的戰術の威力と全艦兵の士氣と訓練の旺盛、充實さに至つては正に完璧の備へである。しかもなほ、敵の潜水艦が日本近海を荒し廻はらぬとは何人も保證出來ず、また敵の飛行機が何處からまぎれ込まないとも限らないのである。及川海相もこの點について「國民の一人々々が爆彈を手の平で受ける心構へが必要である」と要望して居られるのである。今日軍大時局に直面し我が國民は少しでも動搖するやうなことがあつてはならない。もしも不安を醸しだすやうなことがあると、みすみす敵の衝中に陥ることを十分認識しなければならない。

露光量違いにより重複撮影

週報は、国民の進むべき道に對して指針を與へ、正しい時局認識を與へようとして刊行されてゐるものですが、單に讀まれ、單なる知識を與へるだけでは足りません。そこに盛られた内容が、讀者によつて職域においてまた國民の日常生活のうちを生かされ、實踐にうつされてはじめて、眞の目的を達せられるものと信じます。

週報會員に告ぐ

毎週週報をテキストとして時局認識を深め、讀者の會合を開いてゐる會社、役所等もあり、隣組の回覧板で活用してゐるところもあり、これ等は正に週報を生かすものとして大いにお認めしたいのですが、特に注目すべきことは、いはゆる週報會活動が各地に起つてきてゐることです。

さて、週報會活動が中心となつて或ひは會を開いたり、講演をきいたりして時局認識を深めるとともに、一歩進んで、上意下達、下情上通の役割を擔つて地方において時局協力の推進力となつて動いてゐるのであります。情報局でも、かゝる下から盛り上つた活動は、その健全な發展を大いに期待し、出来るだけのお手傳ひもしたいと思つてゐます。

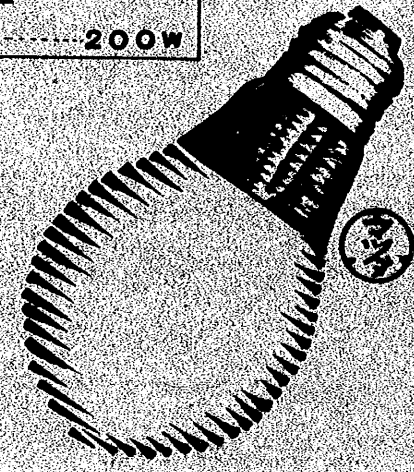
そこでまづ各地におけるかゝる活動の實情を廣く調査したいと思つて、左記要項の御報告を至急お願いしたいのであります。それに基づいて今後の週報會運動の方針となり、當局並びに地方相互の連絡についでも考へてゆきたいと思つてをります。

週報	昭和十六年四月三十日發行
編輯者	東京市麹町區大塚
印刷者	東京市麹町區大塚
發行所	東京市麹町區大塚
本號に限り	十錢(附録共)
外埠郵便に依る	送料共二部五錢(外國郵便に依る場合は十錢)の割合を以て前金を添へ御申込み下さい
特大地の場合	は其の都度御持込金より差額を申受けます
御注意	▲本誌より特報の場合、必ず週報部へ御報告の旨を明記し、その轉送先を御指定下さい
	▲本誌原稿の無断転載は御断り下さい
	▲御意見も週報部へお知らせ下さい
	▲本誌を他へお送りの場合は地図とも郵送一木箱へ御報告の旨は内閣印刷局へ
申込所	内閣印刷局發行課 電話九ノ内三五一九 報務東京一九〇〇番
所達	全国各地官報販賣所 各書店・驛賣店

職域適照!

各二坪平均として

調理場	40W
工場	60W
事務所	100W
製菓室	150W
書店	200W



仕事に應じた明るさが絶対に必要です
新燭光製

新マツタランプ

週報は、国民の進んで、自らに對して指針を與へ、正しい時局認識を興へようとして刊行されるものである。...

週報會員に告ぐ

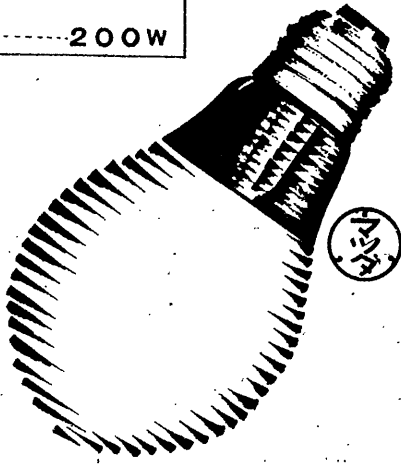
テキストとし、時局認識を深め、讀者の會合を開いて、...

週報の編輯方針として、地方相互の連絡につき、...

Table with columns: 週報 (Weekly Report), 定額 (Fixed Amount), 申込所 (Subscription Office), 御注意 (Notes). Includes details about subscription prices and offices.

★國を護つた 傷兵護れ★

職域適照!



各二坪平均として

Table listing power requirements: 調理場 40W, 工場 60W, 事務所 100W, 製圖室 150W, 商店 200W.

仕事に應じた明るさが絶対に必要です 新燭光制

新マツダランプ

東京マツダ電気株式会社 マツダ文庫

週報 週報は億一民の覽板

報

昭和十二年四月三十日
 昭和十二年四月三十日
 行 (毎週一隔水曜日出行)



結核時の栄養補給に

強力ビタミンB剤 **オリザニン**

ビタミンBの缺乏は結核菌に対する抵抗力を減退せしめ、脚氣の併發となり、食慾不振、栄養障碍に陥入り結核菌の増殖が著明となり、潜伏結核の活動が始まることは既に臨床醫家の實證するところである。

(米、錠、液、エキス、注射液)

東京市日本橋區室町 三共株式会社

(判[A5]格規定圖はさき大の書本)

● 内閣印刷局印刷發行